

## 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、加齢や免疫力の低下により、子どもの頃に感染した水ぼうそうの水痘・带状疱疹ウイルスが再活性化して発症し、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから、接種を諦める高齢者も少なくない。また、症状が落ち着いていても後遺症として带状疱疹後、神経痛で痛みが続くこともある。

国におかれては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月24日

茨城県潮来市議会